

4
5
6
7
8
9
30
1
2
3
4
5
6
7
8
9
40
1
2
3

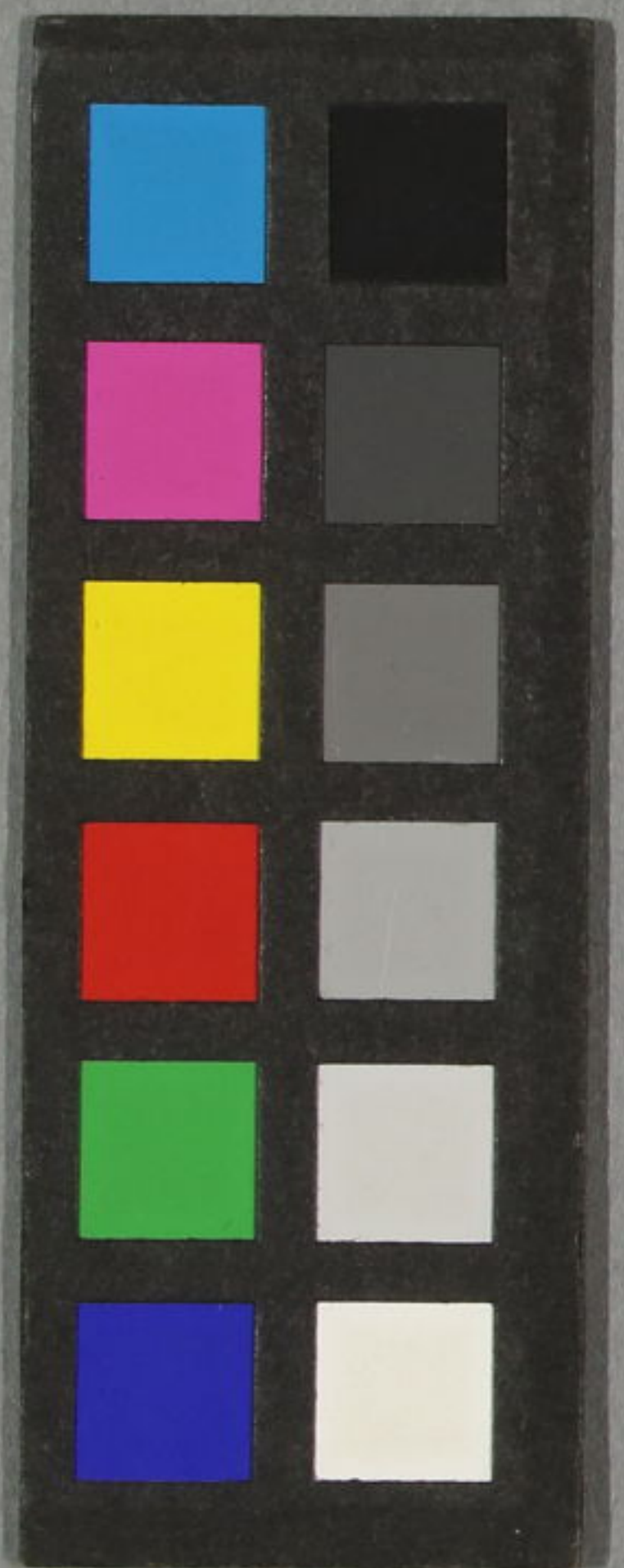
倭文庫二編

万亭應賀作

外題豊國画



~ 13
3785
3



門 へ13
 號 3785
 卷 3

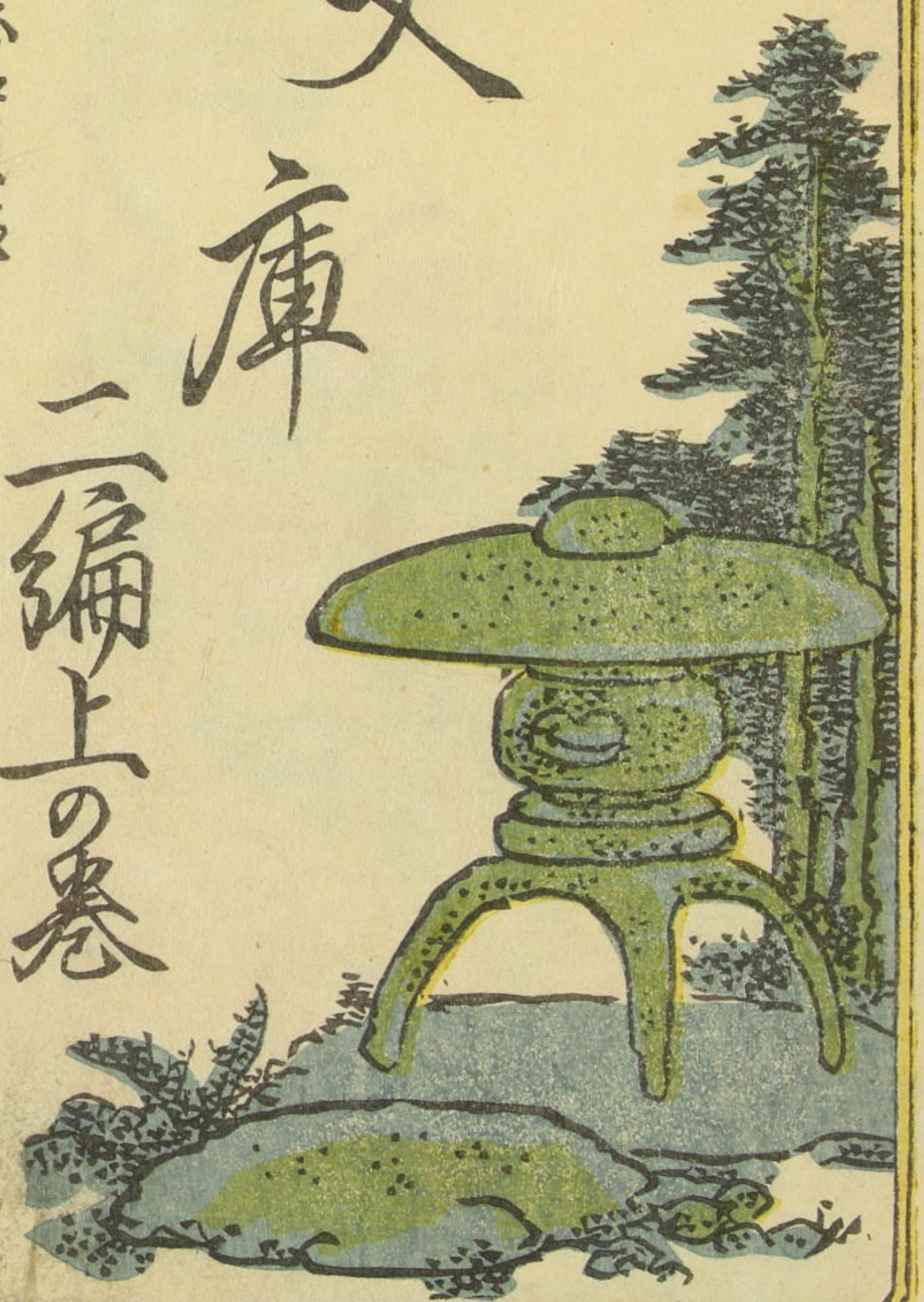
倭文庫

二編上の巻

洋名五

万亭應賀作
 一陽齋豊國画

錦重堂梓



一

釋迦八相倭文庫二編序
 抑中天竺迦毘羅城三十七代淨飯大王の后摩耶
 夫人正子懐胎あり一より妙の轎曇弥嫉妬あり一念十
 六丈の蛇形とるりあること怨身と悲そそ内縛外縛業縛乃
 無明の法の調伏ふ二百六十餘流の血筋と搦めたて衝
 突鎗梅ありとも倒よ花の散す胎の鶯含法華經の玉と
 なる仏童子が神力自在の奇特ある一代修行の基はけと
 戲作の筆れ事さほ直ふ倭文庫と題ること爾す

弘化三年丙午春新版
 万亭應賀識

倭文庫二





馬將軍
 二人の行者
 儀伯
 仙人
 無間仙人
 調伏の法と頼む

二六



轆轤の嫉妬の
 一念青蛇形と顕れ
 青龍城の
 摩耶夫人
 と怨む





●●●●●
 かゝりやう二人りの...
 びあそもの

せめはくこのり
 たつれはあやのさ
 ありのくかえわふ
 たどれたりふとまやひ
 ありてんあうふのらる
 ちをりもあてられぬや
 こそあれさのせん
 より下まの内よ

花のすがも山
 うねみでれい
 うはくをみくじ
 ごとくはんぐみさ
 ちやうとくをさ
 けりひとをあらけ
 可らちちやうたん王の
 けもあつらん王の
 しかふらんひさやう
 となあひひやふ
 なるひとりに
 なるかとの花と
 たりとあま
 なるひとりに
 ねのまひた
 ねふのの
 なるひとりに
 なるひとりに



つぎあられをそるへるまねと
 うちのへるかねぞろまねと
 だんの上へあられかえ
 のみまのちりへむして
 アラまはるやあひ
 みつちりまを
 ふうのせいも
 ふうのせいも
 ふうのせいも
 ふうのせいも
 ふうのせいも
 ふうのせいも
 ふうのせいも
 ふうのせいも
 ふうのせいも
 ふうのせいも

あぢう
 があの
 どんと

伊勢物語二



あつてはしつてしつての
うれしきものひらひらと
うらやまのこころを
きく月のひかりを
けれみりととどめも
まじりてはあまの

●このものの
あつてはしつての
うれしきものひらひらと
うらやまのこころを
きく月のひかりを
けれみりととどめも
まじりてはあまの



あつてはしつてしつての
うれしきものひらひらと
うらやまのこころを
きく月のひかりを
けれみりととどめも
まじりてはあまの

あつてはしつてしつての
うれしきものひらひらと
うらやまのこころを
きく月のひかりを
けれみりととどめも
まじりてはあまの

嘉永八年乙卯春新板目錄

倭文庫	二十編 三十一編	万亭應賀作
重の井菱染別小紋	四編 五編	為水春水作
昔語小栗實説	三編	松亭金水作
花山吹百人女郎	二編 初編	柳亭種彦作
大寶御江戸圖	極上摺	奉書六枚半續
常磐津懷中本	初編 二編	三編 四編
金重繪州紙本類	上州屋重藏	

豊國画應賀作



